

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●ジャパンカップはシュヴァルグランが優勝

11月26日(日)に行われたジャパンカップ(G I)ではシュヴァルグラン(牡5歳／栗東・友道康夫厩舎)が優勝、G I初制覇を果たしました。同馬の姉ヴィルシーナはヴィクトリアマイルを、妹ヴィブロスは秋華賞を制しており、3きょうだいによるJRA・G I制覇は、グレード制が導入された1984年以降では、ダンスパートナー、ダンスインザダーク、ダンスインザムードに続く2例目のこととなります。

●R.ムーア騎手がJRA通算100勝を達成

11月25日(土)の5回東京7日・第1レースではレピアーウィットが1着となり、同馬に騎乗したライアン・ムーア騎手(イギリス)は、現役87人目となるJRA通算100勝(528戦目)を達成しました。

●マイネルホウオウ、ワンアンドオンリーの競走馬登録抹消

2017年福島牝馬S(G III)などの勝ち馬ウキヨノカゼ(牝7歳／美浦・菊沢隆徳厩舎／JRA通算21戦5勝)、2017年中日スポーツ賞ファルコンS(G III)の勝ち馬コウソクストレー(牡3歳／美浦・中館英二厩舎／JRA通算5戦3勝)、2015年関西テレビ放送賞ローズS(G II)の勝ち馬タッチングスピーチ(牝5歳／栗東・石坂正厩舎／JRA通算18戦3勝)、2012年毎日杯(G III)の勝ち馬ヒストリカル(牡8歳／栗東・音無秀孝厩舎／JRA通算37戦5勝)、2013年NHKマイルカップ(G I)の勝ち馬マイネルホウオウ(牡7歳／美浦・畠山吉宏厩舎／JRA通算28戦4勝)、2015年みやこS(G III)の勝ち馬ロワジャルダン(牡6歳／美浦・戸田博文厩舎／JRA通算25戦6勝)、2014年東京優駿(日本ダービー／G I)などの勝ち馬ワンアンドオンリー(牡6歳／栗東・橋口慎介厩舎／JRA通算31戦4勝・海外2戦0勝)は、12月1日(金)までに競走馬登録を抹消されました。ウキヨノカゼは北海道日高町のスマイルファームで繁殖馬、タッチングスピーチは北海道安平町のノーザンファームで繁殖馬、ヒストリカルは北海道浦河町のイーストスタッドで種牡馬、マイネルホウオウは北海道新ひだか町のアロースタッドで種牡馬となり、ロワジャルダンは地方・大井競馬に移籍する予定。コウソクストレーは蹄葉炎のため死亡しています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ハイセイコー記念は船橋のハセノパイロ【各地の主要2歳重賞】

ハイセイコー記念(11月1日、大井、1600m)は、6番手から差を詰めた3番人気のハセノパイロ(牡、父パイロ)が、4コーナーで先頭に立って押し切りました。ローレル賞(11月7日、川崎、1600m、牝馬)は、3番手を進んだ3番人気のゴールドパテック(父ゴールドアリュール)が残り150mを切った辺りで差し切り勝ち。1番人気のエーデルワイス賞の覇者ストロングハート(北海道)は3着でした。ラブミーチャン記念(11月9日、笠松、1600m、牝馬)は、これが北海道から笠松への転厩緒戦だった2番人気のチエゴ(父スクリーンヒーロー)が、3~4番手追走から3コーナー過ぎに先頭に並び、直線に入って間もなく抜け出しました。逃げた単勝1.4倍で圧倒的人気の北海道からの遠征馬エグジビットは、3着に敗れています。

●プリンシアコメータラが出走、12月6日のクイーン賞(船橋)

クイーン賞(Jpn III、船橋、1800m)は、プリンシアコメータが筆頭格、以下アンジュデジール、トップハンデ56%のララベル(大井)、ラインハート(大井)、タガノヴェローナ、アンデスクイーンの順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●米G1クラークH～シーキングザソウルがG1初制覇

11月24日に米チャーチルダウンズ競馬場で行われたG1クラークH(ダート9f)は、後方でレースを進めていたシーキングザソウル(牡4歳、父パーカクソウル)が直線で馬群をうまく捌いて抜け出すと、今年のG2ジムダンディSを制した3歳馬グッドサマリタンの追い上げを半馬身退けて優勝。デビュー17戦目での重賞初制覇をG1で飾りました。勝利騎手はこの日が46歳の誕生日だったJ.ヴェラスケス。同調教師はD.スチュワートです。

●日本でも種牡馬供用されたペントタイアが死亡

1995年のG1愛チャンピオンSや1996年のG1キングジョージVI世&クイーンエリザベスSを制したペントタイア(父ビーマイゲスト)が11月20日にニュージーランドのリッチヒルスタッドで死亡しました。25歳でした。ペントタイアは日本で種牡馬入りしてクラフトワークがGIIアメリカジョッキークラブCを制するなど4頭のJRA重賞勝ち馬を送り出しましたが、海外に渡って大きな成功を収め、ともにニュージーランド年度代表馬2回のムファサ(G1・10勝)とエクセレント(G1・4勝)、2015年のG1メルボルンCを制したプリンスオブペンザンスなどの活躍馬を出しました。